

研究課題名	透析患者の術後合併症発生率における筋弛緩拮抗薬の影響に関する後向き観察研究
研究の意義・目的	全身麻酔を行う際には筋弛緩薬の投与を行いますが、麻酔から覚醒する際にこの作用を拮抗する薬（筋弛緩拮抗薬）を投与する必要があります。主に使用されている筋弛緩拮抗薬にはスガマデクスとネゴスチグミンがありますが、本研究では透析を受けている患者さんの術後合併症に対する両薬の影響の比較検討を行います。
研究を行う期間	倫理委員会承認後～2022年3月
研究協力をお願いしたい方（対象者）	人工透析（血液透析）を行っている患者さんのうち2007年5月1日～2020年3月31日に大阪市立大学医学部附属病院で、全身麻酔下に手術を受けた方が対象となります。
協力をお願いしたい内容と研究に使わせていただく試料・情報等の項目	診療の過程で得られた下記項目を本研究に使用させてください。 診療情報等：【病歴、診断名、年齢、性別、入院日、既往歴、検査データ、全身麻酔時の薬剤投与量、麻酔経過記録、入院中の経過記録】
試料・情報の他機関への提供	この研究は大阪市立大学医学部附属病院麻酔科のみで行い、他の施設に試料・情報は提供いたしません。
この研究を行っている共同研究機関	この研究は大阪市立大学医学部附属病院麻酔科のみで行います。
試料・情報を管理する責任者	大阪市立大学大学院医学研究科 麻酔科 研究責任者 末廣 浩一
本研究の利益相反	利益相反の状況については大阪市立大学利益相反マネジメント委員会に報告し、その指示を受けて適切に管理します。 本研究に関連し開示すべき利益相反関係にある企業等はありません。
研究に協力をしたくない場合	下記に連絡することでいつでも本研究への協力を拒否することができます。また、研究への協力を断っても、診療に関する不利益等を受けることはありません。
連絡先	大阪市立大学大学院医学研究科 麻酔科学 （担当者氏名）末廣 浩一 電話番号：(06)6645-2186